

首フリ手フリ娘 (新しき世界へ 1972 年 10 月号)

—▲ブルブルと▼ブルブル症—

Georges Ohsawa

桜沢如一

### 1 芦屋の病人屋敷町

私とその娘にあったのは芦屋の山の手の M 邸で宿った翌朝であった。その前の夜、私とリマは大阪から M 君につれられ 6、7 入で電車にのって、芦屋についた。駅前のハイヤーで夜道を山の方へ登って行った。大きな邸宅ばかり十数軒ある区なので淋しかった。これらの御殿の一つ一つがミナ 1 人か 2 人か 3 人かの病人をもっているのか、ナニか大きな不幸につつまれていると云う感じがする……(翌日きいてみると、ソノ通りだった。この家の主人は中風で 5 年もねている。あの家の女主人は主人や子供に死なれて 1 人で淋しくくらしている。この家の 30 位の娘はモー10 年もヘンナ病気で、長男は 32 位で生れつきのメクラで、母親は腎臓でねている。主人はメッタニ帰らない。あの家の女主人はモー1 年も入院している。この大きな家の主人は××の社長さんだが、先月急に死んだ……あの家の子供は小児マヒ…この家の女主人は精神病……(つまりこの御殿の一区は一軒のこらずノロワレタ不幸の家ばかり……M 君は最近移ってきたばかり……)

翌朝おきて見ると一人の若い美しい未亡人が来ていた。昨夜、終電できたと云う。駅前のハイヤーにのって M 邸と云うと、運転手が『M 邸にはいらっしやらない方がよくありませんか。夕方シナのエライ人がお伴をタクサンつれて行きました。キット警察が取りかこんでエライことになりませ』と云う。

「桜沢夫妻がシナ服で変装して密出国をやるために東京をスイセイ号で出発した」と云うデンポーが警視庁から全国にとんだ、と云う前日の新聞記事や、キット大山郁夫氏と私が阪神間でおち合いヒミツに打合せをするのではないかと云うその新聞記事から想像したのだろう、と云うのでミナ大笑い。この未亡人は M 夫人の姉さんで、1 ヶ月初歩の正食生活をやってだけで、スッカリ色々な病症がなくなり、美しくなったので、ゼヒ顔を見せたいと思ってハルバル泉州からかけつけてきたのだった。マルデ 1 カ月前の陰ウツナ顔つきとちがっているので私は初対面のような気がした。

そこへ、首フリ娘がその母と、兄嫁につれられてきた。その娘を見ると私はアキレタ。首フリ娘と云っても、これはハリコの虎式のフリ方ではない。モノスゴイ横ブリで、ピッチが 2 分の 1S 以上で、オマケニ両手も同じようにふるえている。30 才くらいであるが目方は 8 貫くらいのヤセ方。メガネをかけるのが大ヘンだ。首もブルブルふるえるし、手もふるえるのだから、ナカナカかけられない。もう 10 年近くもコレがつづいている。これは大ヘン厄介な病気だ。が、その母がまた大変。腎臓病で、軽い脳盗血で心臓が苦しく

て、一歩も外出はできない。つきそって来た嫁はまだ 26 位だのに私から見ると、間もなく、この村のノロイ区の不幸人のリストにのる資格がアリアリと見える。

## 2 パラリジス・アジタンスと振とう症

この首フリ手フリ娘はハゲシイ眼球震盪症が全身にきているのだと思えばマチガイない。これは 14、5 年前に見た白系ロシアの貴族 S 氏の▲性パラリジス・アジタンスとは正反対の▼性パラリジス・アジタンスである。S 氏が見えたとき、イスをすすめると『ニエト』(否)ときた。立っていると手がモノスゴイ馬力でブルン、ブルンやっているがイスにかけると足もブルン、ブルンやりだす、と云うのである。「では夜ねるトキは」ときくと、「ベッドにねると手も足もカラダ全体もブルン、ブルンやるから、フトンも毛布もとばしてしまう。だから室のスミによりかかって仮睡するだけです」と云う。

この S 氏は東京大学の病院で 7 年治療をうけて見たが治らないので、トウトウ私の方へ見えたのだった。スグ入院した。御飯を平皿に入れて大サジをつけてあげると、メシをバラッ、バラッとまきちらしてしまう。そこで私はライムギパンや、オーツパンをつくらせて与えた。2 日目だったか、3 日目だったか、早朝ゼミナリーに出て見ると、一番前の席に S 氏がチャーッと座って、両手をヒザにのせていた。一月もたらずに退院した。

この S 氏のは▲過多症だったので治すのは楽だった。しかし、この首フリ手フリ娘のは反対の▼であり、その上大分コミ入っている。初対面の人の前に出ると一層ツヨクふるえると云うのだからモー精神系統がやられていることはハッキリしている。しかし 1、2 カ月で十分治る見込がある。(その後私は 10 日ばかりは毎日その指導法について考えつづける)

本人はスグ大阪の支部か東京の本部に入院したいと云う希望だったが、私は一度父なる人に会って見た上にしたいので断った。数日後私は東京へ帰ったので、父に会うキカイもなくなった。また数日たった。それで余りまたせるのもキノドクと思って入院の許可の通知を出した。するとオドロクナカレもう気がかわっている。10 日ばかりやって見たが一向よくなるから止めると云うのである。振盪症は分裂症と同じく▼性病であり、病気はすべてリップナ精神病である。精神病でも肉体病でも食物だけで直すコトはできるが、私の 40 年余りの経験では、イカナル病気でも、『ただ一つの世界観』をその食生活の原理とするのであるから(つまり「ただ一つの世界観」を食生活で実際化し、具体化し、ホン訳するのだから)、これが分らないと全く完全には治らないし、長日月かかるし、治ってもマタ再発したり、他の病気になったりする。

「ただ一つの世界観」は 3 才の子供にも分る程度のモノだし、その具体化、実生活化もキワメテかんたんなのだが、原理と行動化の実際が、道場で実行して見ないとヨクのみこめないらしい。この技術が実にカンタンなことだが、指導は実に六カシイ。

『教えるコトのできる人は実行するコトができないし、実行できる人は教えるコトができない』と云うバーナード・ショウのコトバは、この食養の実行と指導のコトを云ったのではないか、と、思うホドである。

首フリ手フリ娘が入院すれば、コトコマカニこの原理の現実化、実生活を指導し、見本を見せなくてはならない。実生活だから起居、進退、一挙手一投足、言動、ソージの仕方ならハタキのかけ方までである。それが 20 年も 30 年も全く指導原理なしでやってきた結果がこの病気をつくり出したのであるから、父母の生活態度やその原理である人生観をハッキリつかんでおかないと指導に手落ちができる。その父母の生活や指導原理が大きなマチガイと欠点をもっているコトはモチロン病人を出しているコトで証明されているが、ドノ程度のモノだかをタシカメておかないと、せっかく治してやっても全くムダである。40 年間の、十数万人の指導でイヤと云うホド私はコレを教えられている。病気をなおすのはソノ親をなおすコトである。親がその病気のもとであるときは、そのもとを去らねば病気はよくなるらない。

しかし父は来ない。本人は精神全身振盪症である。ソレニもう来ないと、云う。けれども、モー私がダメ。モー直したくてたまらない。モーぜひと直さなくてはならない。一日も早く直してやりたいと云う一心がうごき出している。コレマデ 10 年も苦しみ、ズイ分金をかけ、花なればマダつぼみのママ枯れかけている。イヤ枯れておちかけているカワイソーナ娘、何と云う因果な!何と云う惨酷な!!

### 3 パラケルズスでも知らない

この一心がとどいたのだろうか?ひと月もすると、大阪支部へ入院している?ああよかった。これで一人助かった!しかしコレカラが大ヘンである。10 年もイロイロナ専門医が手をやいたのだし、こじらせたのだし……10 才前なら脳水腫でもオシでも小児マヒでもイカナル病気でも治すと断言している私だが、この娘は何分モー30 に近い。セメテ 20 才前後ならマダシモ……

病気と云うモノは一人一人ちがう。ミナ個性がある。ケッシテ活字で印刷した臨床医典では治らない。医者や病院で治るのは自然に治るのである。たいてい、医者や病院にかからない方が早く治るのである。全く路傍にでもホリ出してしまえば自然の本能が目ざめて、自分で治せるモノである。私は常日頃、医者や病院でアレダケ悪い方法ばかりやらされながら、ヨクモ死なないモノだ、とツクヅク感心しているタッター人の人間である。

アラユル薬物療法が悪いコトは、ステニあのマジヤンディ教授やロエブ教授やケログ教授が断言(だか嘆息だか)しているコトだ。ドンナ医者だって、少くとも 10 年もやって来たら、静脈注射を自分のためならしたくはないのだ。薬理学の主任教授にでもきけば薬がイカニ無効であるかは素人にでもスグ分る。無双原理を少しでもカジルと、ソレが無効ではなくてオソルベキ害毒性をもつモノばかりであるコトがスグ分る。第一、なぜきくのか分ってはいない。分っている薬は一つだってありはしない。アスピリンのきくワケだって知っている医者は世界中に一人もゼツタイにいない。ツマリ民間療法や、原始民族の魔法と同じ原理(手サグリ精神、試して見たらアタツタ療法)で、オメオパシイ療法ほどの幼稚な原理さえもっていないのである。漢方はオメオパシイより進んだ原理をもっている。少く

とも伏犠の時代や、ズーット下って張中景や李時珍の時代になっても、原理だけは無双原理の実用弁証法だった。大道医者や、薬局医商、現代の開業医ともなるとスッカリ原理ナンカ忘れてる。それでも数十年西洋医術で治らなかつたモノが漢方薬でケロリッと治るコトがある。

西洋医学があゝ有名な『レッセ・フェール、レッセ・パッセー』(自由主義の金言)の作者の一人であり、フィジオクラート経済学の祖であるケネー(1694-1774)の医者としての成功からドーヤラー人前の医者になったのは今からホンノ二百年前のコトだ。そこへ行くと、仏教医学やインド医学、漢方医学はスバラシイ。数千年前に大成されている。パラツェルズもヒポクラテスも問題にならない。ヒポクラテスの論敵だったアスクレピアデスだって、神話時代の医神アスクレピオスだって原理や完全な世界観があつたとは思えない。アスクレピオスの娘、ヒジイ(現代の衛生学ヒジェニックの語源となっている名)姫の食物療法だって単なる食養生生活だつたらしい。トニカク西洋医学と云うモノはケネーの時代までは散パツ屋さんの内職だつたのだ。そのナゴリが今日、世界中の床屋さんの看板一赤と青、動脈と静脈一にのこっている。そんな程度の医学を五千年の歴史や、ただ一つの世界観(無双原理)の一生理学的、生物学的応用をもつ東洋医学を同一に語るコトは大きな軽ハズミである。

トニカク、よくもアンナ恐しい、惨酷な、暴虐な西洋医学の療法や手術でも人間と云うモノはナカナカ殺されないモノダナア……と云うのが、40年間、食物療法として無双原理実用弁証法を用いて沢山の西洋医学で見はなされた病気を、奇病珍病を、治してしまつたアゲクの私のオドロキのコトバである。

さて、首フリ手フリ娘の療法である。

そこで私はマズその病理学を考えなくてはならない。同じ首フリ手フリ娘でも▲性のパラリジス・アジタンスや舞踏病と▼性ではちがう。▲性のはただエネルギー過多なのだから、エネルギーを少くさえれば、食事をへらしさえればスグ治る。しかし眼球震盪症だの▼性のパラリジス・アジタンスのメカニズムはこみ入っている。パラケルズも御存じない。脳の中樞に異状がおこっているのだから……

#### 4「考える」は「PUする』こと ケタリングと草の葉

なぜ首や手がブルンブルンふるえるのか?

筋肉がドウなるのか?神経がドウなるのか?何がうごかすのか?心臓がわるいのか?…

これからサキをよむ前に、ホントーニ自分のタメを思う人、ホントーノ自由と独立を確立したい人、ホントーニ幸福になりたい人、ホントーニPU実用弁証法を身につけたい人は、この問題の答を考え出すコトです。その答を紙にかきつけてから、ハジメテこの次の考をよむコト!!何時間かかっても、何日かかっても、何カ月かかっても何年かかってもよろしい。よく考えるコトです。なぜナラこの問題一つがとけたら、他のドンナ問題でもとけるようになるからである。完全にとけなくつても、考えただけトクになる。「考える」と云

うコトをしない人が世の中に多い。世の中で幸福になり、自由になる人は百万に一人位しかないが、それが「考える人」なのである。「考える」コトのできない人、しない人が不幸な不自由な一生を送るのだ。考えると云うコトはPU(無双原理、実用弁証法)すると云うコトである。モノゴトをいちいち▼(陰)と▲(陽)に分けるコトが考えるコトなのである。コトわけである。

PU する(考える)と云うコト(▼か▲かをきめるコト)は、健康学園でやった経験から云うと、小学生にでも、無学文盲のオーバーサンにでも、スグできるコトだ。二、三時間で卒業できる。こんなヤサシイ、おもしろい安値な、しかもスグ役にたつ、そして一生幸福な自由な人になる方法を自分のモノにできないようなら、それほど欲がないなら、それほど意志が弱い(イヤ意志がない)なら、それほど頭がワルイなら死んでもケッシテ地獄にはおちない。今生きている間が地獄だ…

モーPU の問題は数百出してある。「無双原理・易」フロク、古い「コンパ」等を見よ。毎日、新聞を見てもタクサン出ている。これを子供のアソビの様に▼▲で考えて見るコトだ。毎日がオモシロクテたまらなくなる。しかもグングン考える力が生長する。

「PU する」と云うコトは「考える」と云うコトであり、人生を朝から夜まで、夜から朝までをタノシイおもしろいモノにするコトであり、四六時中おもしろい映画を見ているような人生にするコトである。スベテノ知識、小ザカシサ、道徳、宗教、学問、理クツ、習慣、法律、経験にすぎるコトをやめ、生れる前からもっているスバラシイふしぎなオドロクベキ本能の判断力を完全に解放するコトなのである。母胎に宿った時から生れて5、6才まで、人間はコノ本能の判断力だけで生き、生長してくる。水蒸気の一分子のような小さい小さいモノ(精虫と卵子のダンゴは百万分の一グラム位しかない。目もハナも頭も手足も心臓も胃も何も無い)が、毎日、毎時、毎分、毎秒、母体をながれる血のタキの中から必要な栄養—蛋白を0.00何ミリグラム、カルシウムを0.000何ミリ瓦、ナトリウムを0.000何ミリ瓦と云う風に分析し定量してとり入れ、それをもって目やハナや胃や頭や心ゾーや手や足・・・を同時につくり出してゆくオドロクベキふしぎな力が本能の判断力であり構造力である。この世に生れる直前の280日ほどフシギナ、スバラシイ本能の判断力を示すコトは人間の一生にまたとあるまい。

生れて乳をすうのも、オシッコをするのも、泣くのも笑うのも何と云うフシギナおどろくべきメカニズムだろう?このメカニズム(カラクリの)ハンドルをとっているのが本能の判断力である。それは神と云ってもいい。このスバラシイ神技、神業、神速にクモリやクルイがこなかったら人間はダレでも一生幸せで自由にオモシロクくらせるのに、生れおちると父母がイロイロおせっかいする。それがこの本能を無用にしたり、ねむらせたり、片ワにしたりする。中には殺したりするのもある。6、7才から先生とよばれるドレイ人種がソレにワをかけ、イロイロナ知識をグングンつめこむ。そんなオセッカイをしないと人間はマスマススバラシイものになる。これが貧しい家からエライ人のでるワケである。

今アメリカの最大の研究所の一つである GM 研究所所長で原子爆弾製造委員の一人であ

るケタリング氏の母は子供の本能にクモリやクルイをつけなかった人である。氏がヤット5才位になったとき、

『オ母サン……なぜ、なぜ草の葉は青いの?』ときいた。

君だったらドー答えるか?

- 1『うるさいネ、草だから青いんだよ』とか、
- 2「バカナ子だね、草が青いのはきまつてるじゃないか』とか、
- 3『草は▼性だから青いのだよ』とか、
- 4『オ母サンは今いそがしいんだよ、あっちへお行き』とか云ったらオシマイ。

それでその子のオドロキ、自然界を観察する目は永久に閉されてしまう。つまり片わになつてしまう。こんなことが何度かあると、モー子供はゼツタイに考えないようになってしまう。ソレは子供をドレイにうりとぼしたようなモノである。人生の悲劇はここに生れる。(1)(2)(3)で子供はウノをつくコトをおぼえる。(4)で権力をカサにきると言う手をおぼえてしまう。暴力の味を知ってしまう。母が自分の無知を告白する代りに子供をバカ扱いにしたり子供のしらない(自分も暗記しているだけの)ガイネンで圧えつけたりするからである。

ケタリングの母は『あッ!草の葉はなぜ青い??フー……フー……お母さんにも分りませんネ。お前よーく考えてごらんなさいナ。そして分ったら教えて下さいネ』と云った。ケタリングはソレカラ考えると云うコトのオモシロサにスリルをおぼえた。そして考えた、考えて考えて、考えつづけた。アリガタイことにホントーにありがたい、アリガタイことは、ケタリングの父母はビンボーだったので、カレに人並の教育をうけさせるコトができなかった。だからカレは学校で先生から本能の判断力、もって生れた「考える力」をいためられたり、殺されたりしなかった。

カレは労働した。金があまると本を買った。そしてよんで考えた。ナカナカ分らない。本をかくエライ先生たちでカレの問題をとく人はいなかった。大きくなるにつれて、カレは年々金をためては大学へ寄附して、草の葉の青いワケを研究して下さいと頼んだ。モチロン自分でも本をよくよんで考えるコトをつづけて行った。今日カレは70何才かであるが、カレが今日までに寄附した金は何十億と云う大した金額になっている。30年も前に草が青いのはクロロフィール(ミドリのモト)と云うモノがあるからだ、と云うコトが分ったのはカレのオカゲである。

ケタリングが最高級の人物の一人になっているのは、カレの母のオカゲである。母が正直と云うコトをカレに身をもって教えたのである。カレは正直と云うモノを愛する人になった。カレの意志、実行力は学校や教育家によってつけられたモノではない。父母のビンボーとビンボーがヨギナクする労働生活がコツコツつくり上げたモノである。自分で解決するより外はないと云う事情がカレに独立と自由と研究心をあたえたのである。

考えると云うコト。考えると云うコトこそ幸福のカギである。考える必要がないようにされたら、つまり何でも教えられたら、人間はオシマイである。数学を教える先生がスベ

テノ問題をグングン解いて見せてやったら高等数学まで教えてやっても、生徒はただバカになって聞か、うまく行っても暗記キカイになるかである。そんなモノは実社会にでたら重宝なドレイにされるより外はない。これがこの世にドレイが多いワケであり、これが戦争や、サギや、アラソイや、病や、ナヤミや、罪がタクサンあるワケである。

これだけクドクドしく『考える』コトの重要さをといたら、考えると云うコトがイカニ人生で重大であるかが分ったでしょう。分ったら善はイソゲ!今すぐ首フリ、手フリ娘のメカニズムを自分で考えて見るコトです。それにはマズ中学校位の生理学の本を一冊よんで見るコトから始めます。生理学を自分でよむのです。自分でよむ、と云うのは一行一行▼▲に分けて行くコトです。これは本に教えられるのではなく、本を自分で読んで判断するコトなのです。

本をよまないでも自分のカラダをヨクしらべても分るコトです。それは生理学の本を自分でかくコトになります。

#### 5△ブルブル・▽ブルブル

PU 実用弁証法で、ある現象の原因を考えるにはドーするか?マズそれを二つに分けて▽と△とにする。この「フルエル」と云う場合なら、▽でふるえるモノと、△でふるえるモノに分ける。

△のブルブルー(A)イカリでふるえる。(B)飛行機のふるえ。(C)地震。(D)モーターのブルブル▽のブルブルー(A)オソレでふるえる。(B)サムサでふるえる。(C)細いうすいゴムパイプの中を強く水がはしるとき。(D)高くたてた長い釣竿の末端。(E)仕事でつかれたアトなどの手さき。

△の ABCD は原因が内部にあると云う点が共通。この場合構造が▽であるほどブルブルが強く大きい。▽の ABC は一様に内部に原因がある。内部のウゴキとそのモノの構造に原因がある。△の方のフルエはダレでも原因がよく分る。治すコトもゴクやさしい。モーターをとめればいいのだ。しかし▽の方のは一寸考える必要がある。問題の病人は後者の方に違いない。(ロシヤの貴族 S 氏の場合は△)

オソレでふるえるのは全身の血管がちぢまるので血圧が高くなり、ちょうど細いウスイゴムの管の中をスゴイ速さで水が走るときのようにブルルとふるえるのである。人間のカラダの中には何十万、何百万、何千万とホソイ管が走っていて、その中を 1 秒に何米かの速度で血が走っている(心ゾーは 1 日に 1 万リットル以上の血を送り出し廻転させている)だからドンナニ静かにジューッとイキを殺していても、手の先で長い釣竿をもっていれば、その小さい血管のフルエがつたわって、先端で拡大されてブルブルふるえる。▽の A も B も実は C と同じ現象です。オソレやサムサがブルブルになるワケ、つまり心臓や血管がホソクなり、全身がひきしまり、ちぢまり、冷汗がながれ、オシッコをもらしたりするメカニズムはとてもオモシロイのだが、ソレは諸君のパズルにのこしておく。これが解けたらモーPU は卒業だ。ドンナ本をよんでエライ人にきいてもよろしい。ダレも知らないから。

PU だけがとくカギだ。これが分ったら君はモー自由人だ。魔法のカギを手に入れたのだ。PU と云う!

オソレやサムサのときは間脳から、パラ・シンパテイクの自律神経中枢が活動し、一種の間歇的ヴァゴトニーになるのです。これは生理学をよむとよく分ります。最近はクセジュ文庫の『人間の精神生理』『意識の生理学』『死』など手がるでよみ易い素人むきの本が出ている。これらの本をよむと、日本で最近よく出る人間、生命、生物学などにかんする本がイカニ子供らしく或はジャーナリズムにおちているかが分ってキノドクになる。

首フリ手フリ娘の場合はモ少しこみ入っている。幼少時や妊娠中に動物性△が入っているので人間の△の大本発電所たる間脳が発達せず弱くなっているし、その上、長年▽性食品が入っているので、血管も(皮フも)まるでトーフかコンニャクでこさえたウスイ、うすい膜のようになっているので、一層ブルブルが目につつのである。

ふるえる手や指くらい何とも思わないモノだが、間脳に異状があるコトを示すものだし、血管もヤブレやすくなっているのだからオソロシイ。

治療法—こればかりではないが、西洋医学はこのブルブル病にはトクニ困って完全に手をあげている。これを治すのは食養療法あるのみである。ソシキをゴツクするために、ゴボー、人参、ホンモノの自然ジョ、ニラ、ノビル、ソバ、粟、玄米を与えるコト。ミナ特別食養料理、無双流、カクシ塩。厳禁すべきは砂糖、スッパイモノ、水、茶、アルコール、甘いモノ一切。とくに▽のクダモノ一切。入浴がもっともわるい。房事もいけない。効果を早めるためには少しツライ位にウンと労働を持続的に毎日つづけること。

長年のブルブルもたいてい、2、3日から1、2週間でハッキリ効果が見え出すから、ホント一食養の原理 PU と云うモノはおそろしい。こんな治療には十二分の PU 生理学の知識がないとトンダ失敗をやるコトを忘れないでほしい。

## 6 ララのブルブル

十月二十八日に本部の MI 健康学校に 15 才になるブルブル娘が入学した。3 才の時小児マヒと云う診断名をつけられた子だが、ブルブルで字もかけないし、オハリもできないし、歩くのには半分くさって川にすてられたカボチャが流れるようにドンブリコをやる。顔には顔面神経痛も出ている。母なる人を見たとき私はおもわず「まあヨクここまで生きてこられたものですね……』と口走ってしまったほど、ワルイ状態。腎臓、心臓、肝臓をやられ、ムクミはあり、足はおもく、ドーキがきつく時々心臓がいたむ。カタがこってスゾがひえて、両手は一面に長年の水ムシでボロボロ皮がむけているし、指サキがミナ固くなってヒビ、アカギレで(卵巣炎、子宮内膜炎の証コ)……イヤハヤもう文字通り病気のダンゴか生けるカバネ。この身でこの女性は主婦として毎日 4、5 人の人のためにおきて、うごいている!

全くこの主婦一人の食生活のキソ知シキのなさから、可愛い娘は不具者として、一生廃人として結婚もできず、恋もできず、オハリもできず、一生他人の手をかりて行くか、手



をかしてくれる人がなければ女乞食になって道傍にゴザでもしいて座って、道行く美しい楽しげな人々からメグミをうける身になるのである。おそるべきは食生活の原則の無知によるフミニジリ……おそるべきは母の無知、本能のクモリとクルイ、判断力のなさ!

この娘は二十八日に入学して、私からララと云う生れかわりの名をもらって、1週間目にモー美しいキリッとした顔になってミナを驚かしたが、2週間目に大ヘンなコトになった。そのアラマシをララの美しく、キレイニ力強くなった字でかいた日記で諸君に見てもらいたい。

十一月二十四日にはまた大ヘンなことがおこった。そのワケは次の日記にある。この日学校から帰ると彼女は室に入ると大声をあげて泣き出した。ドーシタのと、イルマや、ジュヌヴィエーヴなどの上級生が行ってきくと、一人一人にララはこの日の出来ごと、彼女の一生の最良の日の大きなヨロコビを涙ながらに訴える。ドクトル R もスッカリ感激してしまった。ジュヌヴィエーヴお姉さん[2年もナラシノ療養所に入っていたのによくならず、ここにきて5日もたたない間にグングンよくなり、お勤めに出、事務所の人々をビックラさせ、ひと月もたたない間に会社の医師に「イヤーその元気なら診断するには及ばない」と云わせた娘(28才)]のごときは、この新しい学校 ANS で朝晩うたう『苦しみなきモノに、よろこびなし』のウタの通り、ホント二死ぬるほどのクルシミをし、ツライ目に会ったモノでなければ、ララのような大きなヨロコビをうけとるコトはできないのだ、と云うコトを力強く力強く教えられたと云って二重三重のヨロコビである。ほんとうにヨロコビと云う大陸は、各自がコロンブスのように大いなる危険と困難を冒した後でなくては発見出来ないモノです。ヨロコビとは大いなる発見である。

#### うれしかった日(ララの日記)

十一月十五日、学校の帰り、私はいつもの通り家に寄りました。母はもうすっかりよくなって、もう仕事をしておりました。

母は私を見ては「きっと病気はなおるわよ、もう少しの辛抱よ」と云っては、3週間前のことを思い出しては『あの時お母さんが、学校の講演を胸が苦しいからと云って聞きにいかなかったら、お母さんはもう今頃死んでいたかもしれないし、由紀子ちゃんはまだ国立病院で痛い思いをして、一生なおらずにいたかもしれないわね』と、母さんは神の救いだたと云って私と話合いました。

私が今日までにどのくらいよくなったかと思い、お母さんの前で手を前に上げ、びんと伸ばして見ました。手は全々ふるえません。うれしくなった私の胸がカーッと熱くなり、何度も何度もやりました。何度やってもふるえません。お母さんも目に涙を浮べて喜んで下さった。おやかんを持ってさし上げても手はふるえません。お母さんもおどろいておりました。これをみた妹と弟は、これからあまり甘い物を食べないといい始めました。おばも『私も玄米食にするよ』と言いだし、一家協力し始めたようです。私はこの分だったら一カ月もたたないうちになおるような気がします。

十一月二十四日(月)きょうはとてもだるくゆううつな日でした。私は家へより今日のゆううつだった話だとか、体の変化を母達に、聞かせながら何の気なしに母の裁縫箱から、布と針を持って布を縫って見ました。ところが驚いた事には、今までと違い手がよく動き、糸目がととのい、まっすぐではありませんか!うれしさのあまり泣いてしまいました。母も、うれしそうに私の手と布とを見くらべておりました。私はもう何ともいえないうれしさで、思わず泣きながら「パパ、ありがとう、ママありがとう』と云って母と喜びあいました。ほんとにありがとうございます。今日一日私はうれしさを泣いたのは初めてです。

それからこれは質問ですが、2、3日前から体がだるいのですが、なぜでしょうか、だるいため、手にも力がぬけてとても字が書きにくいのです。

〔評〕 オメデト～。あとで見てください。君はモー大丈夫だ!こんどはお母様、カワイソーナお母様を助けましょう。君さえよくなったらお母さんも一家中も、学校中も世界中もミンナよくなる。そうしたら君は世界で一番コーフクナ人になる。

シスター・ケニー(小児マヒの子供の神様と云われる人、映画で世界の母として有名になっている)やナイチンゲールよりも有名になれる。なぜなら君はケニーやナイチンゲールとちがって、ただ看護するだけでなく治してあげることができるんだもの!!(G・O)

## 7 未完成品

ここに一つのタマシイが救われた。この娘はモーたのしいタノシイ自由な平和な世界の市民だ。

ところが、たいていの場合、これでオシマイになる。40年間私はこんなヨロコビの声をあげた人を十何万人も見つた。そんな人々から来たヨロコビと感謝の手紙は二つの一番行李に一杯になるほどうけとった。この御恩は忘れません。一生忘れません。死んでも忘れません。と云うような思いつめた声でいっぱい!しかしそれでオシマイ!3年たち、5年たち、10年たちするうちにダンダンその声がよくなくなり、カスカニなりツイニきこえなくなってゆく……私はララがよくなってくれたので、ホントー二自分の子がまた一人うまれたように思う。私は慾がふかく他人の子をミナ自分の子のように思いこんでしまうクセがある。自分の子は7人とも幼い頃から家におかない。なぜなら私は「永遠の少年」にかいた通り、10才から天涯孤独の親ナシ子になり病弱なのに世の荒波にホリ出されたコトほどアリガタイことはなかったと思っているので、そのアリガタサを子供たちにもやりたいのである。しかしカラダや心の病気の他人の子だけはその親から引きちぎり、一応治してやり、一生病気せずに、自由で一生スキナ事ばかりやってやってやりぬいて送る人になる方法を教えたくて教えたくてタマラナイからである。それも1、2年教えたい。一等弱い、一番愚かな低能白痴を1、2年で卒業させたい。できれば1カ月か1日で教えたい。そんな技術を身につけたい。(これは魔法だ。)と云うので今日まで40年やってきた。

しかしマダ私の技術は未完成品である。前途遼遠だ。

私は死モノグレイで、ホントー二命をかけてその技術を身につけるタメニ朝は1時2時

からおきて 6 時までこの健康学校の子供たち(今は生後 2 カ月のジュジュから、3 才のヨー子、54 才のヴィクトリーヌ未亡人まで 30 人ほどいる)の報告や作文やホン訳や研究を見ている。その中でも一番六カシイのはウソツキのカタリーナ姫(28 位)、「風と共に去りぬ』のスカーレットのようなワガママキママ娘 I、大食娘フラン、ブルブル娘 S……フラフラ娘 J……6 年ねていたネムリ姫 T……など。

私は魔法の杖をさがしている。ミダス王の「さわると黄金』『さわると幸福』の手をさがしている。

私はソレを発見した。タシカニ発見した。しかしマダ使い方がヘタクソだ。

私は赤ン坊の時から(母胎時代ならなおい)まかされたら、そして母が協力するなら、万人を、私のように 5 才で父にすてられ、10 才で母に死なれてもタノシクテ、うれしくて、アリガタクテ、おもしろくてタマラナイ一生を送る子にする方法を発見した。

しかし私は慾フカじいさんだ。

この原理をもって、モー大きくなっている子供、10 才、20 才、30 才、50 才、60 才で不幸のドン底におちている人々を、このララのようにヨロコビとタノシミの天国へホリこんであげたいのだ。イヤそれもできるんだ。しかしイツでもそれらの人々の親や、先生やマワリが私のジャマをする。10 才までならマズ大丈夫。ドンナ不幸なアワレナ子でも、フランクリンのような、リンカンのような、エラスムスのような、ミレーの様な、毛沢東のような人にできる。それらの人々はたいてい親が 1 人か 2 人ともないからジャマがない。10 才までに親さえなければカッテ二人は幸福になれるモノであるコトを、60 才になって私はマスマス確信する。

ララはモー大丈夫だ。しかしコレカラが大問題なのである。ララはこんな不幸な子を生みそだて上げた製造所へかえって行く。そこでまたモトのブルブル娘にならない、と云うコトはララにも親にもダレにも保証できないコトだ。

私が病気をなおすネライは自由で幸福な人をつくるコトである。一生スキナコトばかりやってやってやりぬいてタノシイタノシイ一生を送る方法を身につけるコトだ。その自由と平和と幸福と正義の原理をかりて治すのだから、治ってから一生「自由な人」「幸福な人」「正しい人」になってくれなかったら、私は「自由の原理」(宇宙の秩序)に対してウソをつき、サギをはたらいたコトになってしまう。ここに私のクルシミがある。

## 8 昔ナツカシノ集い

昨十一月二十六日、妻が発起人になって、田村町時代やその前の古いお友達 30 人お招きして昔ナツカシ座談会をやった。23 人見えた。70 才の大賀博士夫人、60 才の榊原夫人をはじめ、見えたワ、見えたワ、田端夫人(大連)まで 23 人も!ミナ元気!おくれて丸山博夫人、川口トシ子まで…「アラ、マア…」の連発。10 年来の人、15 年来の人、20 年からの人、35 年前からの地引さん……

ミナの自己紹介で、ミナ各自に昔を思い出す。生活学校時代同じクラスであったのに、

一向話もしなかったが、こうして会って見ると思い出す…と云う楽しい10年、15年ブリの生命の学校の同窓会。

よくミナ生きぬいてきた。みな大病で私を訪ねてきた人だが、よくも生きぬいてきたモノだ。しかし100%の自由人、無限の自由、永遠の幸福、絶対の正義、最大の幸福をミナもっているだろうか?そう思うと私は満足できなかった。世のツネ人よりはミナ幸福だがソレでも無限の自由ではない。

一まあ病気はしませんが、ズイ分ワルイモノをたべています。すみません…と云う組が多い。

一おかげさまで息子は大きくなりましたがアレカラ16年病気をしません。大きな丈夫な子になりました。しかしチットモ云うコトをききません…と云う人もある。その顔を見るとオソソシイ癌がしのびよっている。イツきて下さいますか、主人がソレを伺ってきてほしいと申しました、と云うのは田端夫人。十数年前に不治の糖尿をなおして上げたのに、また最近病気になってもう2年もねていると云う……

## 9 むすび

私が変わったのだ。

十数年前、私はマダ病気をなおす方法ばかり話していた。大きなマチガイだった。自由人になる法。幸福な幸福な人生を送る法を話してはいなかった……

ララにもIにもブルブル病が治ってもホントノ自由で幸せな人になりタノシイうれしいオモシロイ人生を一生送る方法を身につけなかったらダメだ。かえって私は大きなツミを作ったコトになる。なぜなら私は自由な一生を送る方法を知っていて、その一応用で病気を治しながらカンジンナ自由と愛の原理を教えてあげない、と云う大きな大きなこの世で最大のツミを犯してしまうのだから……

たとえばこの幼い、いじらしいほどスナオナ母おもいのララ、このシスター・ケニー以上の女性になる資格を十分もっている娘を見事にケニー以上にしなかったら、私はララに対して大きなツミを犯したばかりでなく、実に全世界、全人類に対して申訳のないツミを犯したコトになる。

年々6千万円も小児マヒの予防のために出して、ヤッキになっているのに、米国では年々小児マヒが3-4万も出て、ふえるばかりである。昨日見えた富山さんが云った通り、小児マヒは我々の手では一週間で治るし、ソレヨリかかる前から分るし、分るから予防もできるし、それが予防できる位だから他のイカナル病気でも治る。ああ、「生は食にあり」、「食正しければ心も正しい」。この原理をイカニせん小人玉をいだいてツミあり、とは私のコトか?

そこでこの小児マヒで悩みぬいている米国の人々のためにも、これは教えてあげなくてはならない。教えてあげなかったら私は宇宙の秩序を独占したり、悪用したりしたコトになる。ソノ結果は必ず不幸になる。しかも因と果は不二一体だから、教えないでいる、と云うコト自体がモー大きなバツであり、不自由であり、不幸であるコトである。

この心が分ってくれたらララでもダレでも病ノ人や、病気をしたコトのある人は世界一の幸せな人になるし、分らなければ世の常の不幸な人になる。分らせなかったら私も同様の運命。

ララは idiot になる素質を十分もっている子だから、バツはモー私の目の前にもララの目の前にもブラ下っている。I も同様である。

要するに、『唯一無双り世界観宇宙の秩序が分らない限り、人間のドンナ病気も治らないし、自由にも幸福にもなれるモノではない。

ブルブル娘！ブルブル青年！ブルブル人！世の中の人にはミナ▼ブルブルか▲ブルブルだ！

オソレを知らない人だけがブルブル人でない人だ。

ブルブル人でない人だけが自由人だ！

（『サーナ』 号 1953.1.1 より）